

山形県立博物館 友の会会報

第1号(通巻9号) 2010年6月30日発行
山形県立博物館友の会
発行責任者 中川 重
事務局 〒990-0826 山形市霞城町1-8
山形県立博物館内
Tel 023-645-1111 Fax 023-645-1112

仲間を増やして、もっと博物館を知ってもらおう！！

山形県立博物館友の会 会長 中川 重

先の総会で会長を仰せつかりました中川重(しげる)と申します。今回、会長にとの要請を受けましたのは、10年程前に山形大学附属博物館長をしていた時に、その職が自動的に(?)山形県立博物館協議会の会長を務めるということで、4年間程お世話になったことがきっかけとなりました。

また、友の会の生みの親である前会長の石島先生とは、附属博物館や教育資料館などについてよく話をした旧教育学部の同輩だったことも、大役をお引き受けする鍵でもありました。

私自身は子供の頃から博物館などいわゆるミュージアムというところが大好きで、どこかに出かけるとよく見学していましたが、その癖はいまだに続いております。博物館の利用者として、友の会の目的である博物館事業の支援や地域文化にどれだけ貢献できるか分かりませんが、急逝された石島前会長の思いをしっかりと引き継ぐとともに、もっともっと仲間を増やして博物館について知ってもらうことを中心に微力ながらお手伝い出来ればと思います。

会員皆様のご協力ご支援のほど、どうぞよろしくお願い申し上げます。

山形県立博物館館長あいさつ

山形県立博物館 館長 いしがき たつろう 石垣 立郎



緑濃い季節となりました。県立博物館友の会会員の皆様には、ご健勝のことと存じます。日ごろから県立博物館の事業にご支援ご協力をいただき、ありがとうございます。過日の総会の際には、プランターに草花の植栽を行っていただき、ありがとうございます。おかげさまで、当館の玄関口がうるおいを増したように感じます。また、昨年度の共同企画「私の宝もの」展は、おかげさまでたいへん好評で、入館者数が顕著に増加したと聞いております。

学芸員による専門的な展示とともに、こうした親しみやすい企画もまた、博物館の役割の一つかなと感じたところです。今年度も、会報の発行や「私の宝もの」展の第二回目などが計画されているようで、楽しく有意義な活動となりますよう、ご期待を申し上げます。

さて、今年度、国指定重要文化財であります分館・教育資料館が、開設30周年となります。来年度は、本館創立40周年となります。これまでの歩みに感謝と誇りを持ちながら、県立博物館と博物館友の会、そしてボランティアの皆さんが力をあわせて、多くの来館者を迎えることができる、親しまれ信頼される博物館を実現していきたいものと願っております。

今後の友の会の着実な発展をお祈りするとともに、山形県立博物館に変わらぬご支援をいただきますようお願いを申し上げますとともに、皆様のますますのご多幸とご活躍をお祈り申し上げます。

展示会のご案内

教育資料館開館30周年記念展

ハイカラ

「三島通庸と洋風学舎 一近代やまがたの学校一」

2010年7月17日（土）～9月26日（日）

（8月23日～9月2日はくん蒸消毒のため休館）

山形市緑町にあります、山形県立博物館教育資料館を見学したことはございますか。旧山形師範学校本館（国指定重要文化財）の保存・活用を目的に、昭和 55（1980）年に開館した、全国でも数少ない県立の教育博物館です。館内には山形の教育のあゆみが分かる資料が展示して興味深いうえ、建物自体も美しく価値のある、素敵なおところです。今年 30 周年の大きな節目を迎えます。

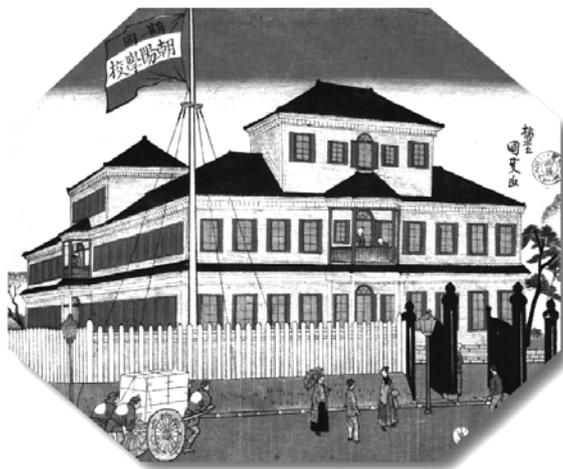
幾多の優れた教員を送り出し、山形県の教育の基礎を築いた山形師範学校は、統一山形県の初代県令である三島通庸を創設者としします。本記念展では、「土木県令」として知られる三島通庸の教育分野における業績に光を当てながら、学制公布（1872 年）から教育勅語発布（1890 年）までの山形県において近代教育が確立される道筋をたどります。

主な展示資料として、明治の学校建築に関する絵図や写真、草創期の学校制度や運営に関する資料、当時使われた教材等が予定されています。時代の激変とともに教育の意義が改めて問い直されているなか、近代教育の黎明期であった明治の学校と教育を振り返り、資料の数々を通して「教え」と「学び」の原点をともに探りませんか。

《関連行事》

- ・ 展示解説会 7月17日（土）、8月7日（土）、9月19日（日） 午後1時30分～2時
- ・ 学芸員講座 「明治の学校」 7月24日（土） 午後1時30分～3時

※ いずれも参加申込は不要です。



錦絵 朝陽学校（鶴岡市郷土資料館蔵）

会員によるエッセイ 教育資料館の仕事より（1）

友の会事務局 野尻 侃

2008年（平成20年）4月から私は県立博物館の分館である教育資料館にお世話になりました。教育資料館にはたくさんの教育関係の雑誌や論文などが収蔵されています。明治時代から昭和時代に発行された『私立学事会雑誌』や『学事談話会雑誌』、『広幡村小年会雑誌』、『恩之海』、『玉ノ庭』等や、論文や談話を集めてひと月に1回の割で発行している雑誌の項目等を、データベースに載せる資料としてまとめる作業を行いました。上記の資料のほかには、『山形共同雑誌』、『学友（4～9号）』、『山形教育』、『酬志』、『酬志会雑誌』、『工友会雑誌』、『利民』、『有為会雑誌』、『米沢有為会雑誌』、『江北雑誌』、『羽陽同盟会雑誌』、『平民』、『羽陽少年』、『新庄内』、『西村山郡私立教育会報告書』、『山形県教育』、『新教育』等、多くの教育に関する論文や批評がありました。これらの雑誌は、山形・米沢・酒田・鶴岡等の県内各地で教育を向上しようとする識者が教育団体を立ち上げ、意見等を発表したものです。会員や購読者は「県内の教育を進展しよう」とする心意気で、教育に関する私論・意見を雑誌の中に述べています。

その中で筆者がこれと思ったものに、明治28年12月調べのもので、「日本人の平均寿命」と題した報告があります。明治20年の時、37.79歳、21年で36.64歳、22年で35.70歳、23年で36.94歳、24年で37.14歳と報告されています。現代では80歳を超えた平均寿命ですが、明治中期頃の明治20年から24年の5年間では平均36.84歳でありました。当時の社会状況や食生活、衛生環境等を考え併せても現在は2倍以上の寿命なのでした。いかに現在は恵まれた生活環境にあることが読み取れ、驚いています。『人口から読む日本の歴史（鬼頭宏著）』の中で、縄文時代は平均寿命31歳であると書かれています。10000年以上かかっても明治の人々の寿命はさほど寿命は延びていませんが、明治から現代までの115年で更に二倍以上の寿命となっています。これらのことから、当時の社会がまだまだ危険な生活環境であったことが読み取れます。

また、現在も発行している『山形教育』には、特別寄稿として、藤沢周平さんの「昭和の行方」、浅井慎平さんの「君も熱中できたらいいね」、舞ノ海秀平さんの「受けて忘れず、施して語らず」や、「教育の心」欄に記載された山形大学教授柏倉亮吉先生の「学門を遊ぶ」、庄内藩の「お殿様」である酒井忠明さんの「不如学(学ぶに如かず)」、特集「新しい学びをつくる」には、元山形大学教育学部長石島庸男先生の「新たな教員養成への取り組み（地域教育文化部のめざすもの）」等々が掲載されていて、教育県山形の面目をたからかに謳っています。

また、筆者は庄内鶴岡大山の出身のことから、これらの雑誌類内に記載された庄内に関する雑誌内容や報告を自分のノートに記入しました。この内容については、引き続き資料整理した山形県学校史年表とともにまたの機会に紹介したいと思っています。

○平成 22 年度県立博物館友の会総会報告

去る 5 月 22 日（土）に今年度の友の会総会が行われました。総会に先立って、会員有志による環境整備活動（花の寄植え）と企画展「やまがたの人形展」講演会・実演会が行われましたが、多くの会員が参加し、とても盛況でした。なお、このとき整備した花の寄せ植えは博物館エントランスに飾っています。来館者の皆さんにお褒めの言葉をいただいています。

総会では、平成 21 年度の事業報告と決算報告、平成 22 年度の事業計画と予算が事務局より提案され、了承されました。会員からは活発に意見も出され、より良い活動にして県立博物館を盛り上げていこうという意識を皆で再確認した総会となりました。（内容については別資料をご覧ください。）

総会で了承されました事業のうち、出版事業の「図録『三島通庸と洋風学舎』」と「ポストカード」を早速製作中です。7 月下旬ごろには販売が始められるようにと考えていますので楽しみにお待ちください。



相良人形師 7 代相良隆氏による絵付の実演



当日の様子

事務局より

7 月 17 日から教育資料館開館 30 周年記念展「三島通庸と洋風（ハイカラ）学舎」が博物館で開催されますが、あわせて教育資料館にも足を運んでみてはいかがでしょうか。建物の外観だけをご覧になっていく観光客の方もいらっしゃるようですが、学びの風景を再現したジオラマや古い教材などが各展示室にあり、まるで当時の教室にタイムスリップしたかのようです。懐かしさで心がいっぱいになってお帰りになる方も多いそうです。私たち友の会会員は博物館と同様に会員証提示で入館できます。

なお、博物館の催物案内やホームページでもお知らせしていますが、8 月 23 日から 9 月 2 日の期間はくん蒸消毒のため、博物館は休館となります。その期間は友の会事務局もお休みとさせていただきますのでご了承ください。

<ka>